

2021(令和3)年夏・リニューアル号 第104号

SUNSHINE

有限会社 太陽開発
鹿児島市鴨池2丁目1-12 TEL099-255-3623
E-Mail master01@taiyou1991.com

コロナ禍の閉塞感から何となく“SUNSHINE”もおさざりになって、気付いたら一年以上経っていました。その間にせめて事務所の閉塞感を打破しようと、少しばかりリニューアルしてみました。事務所中央にあった高いパーティションをなくし、観葉植物を置いてみました。合わせて観葉植物のレンタルサービスを導入、二週間ごとに新しい観葉植物が届けられるので、とても気持ちよく過ごしています。サービスを提供して下さるのは荒田一丁目にあるお花屋さん“INO FLOWERS”さんです。以前からセンスある店構えが気になっていたお店だったので、今回ご縁

パーティションをなくし、観葉植物を置くようにして明るく解放的になりました

高いパーティションのあった以前の事務所内

Before → After

今回ご紹介させていただきますのは鴨池2丁目にございます“えりかビル”という物件です。こちらの物件は、当初建物の外観が古く暗いイメージがあったため、1階・5階・6階の部分が空いておりました。しかし、外壁を修繕するための全体塗装には高額な費用がかかるため、建物前面と側面の2面だけに板を張ることにより、コストを抑えたくて建物のイメージを一新することが出来ました。木材の持つ柔らかく優しい雰囲気を使い、暖かみのある雰囲気を演出することでリフォーム後には1階が児童施設としてすぐにお借り頂ける運びとなりました。賃貸マンションの多い周辺環境の中で、木目を使った外観は暖かさを感じられ、施設のイメージともマッチしており、好評頂いております。塗装ではなくあえて木を張ることで低コスト化を可能にただけではなく、外観のイメージを新たにすることでお客様により良い物件を提供することが可能になりました。今回の事例は弊社としましても大変喜ばしく、実りのものとなりました。

～えりかビル～

Before → After

久しぶりのSUNSHINE
今回ご紹介するお店はこちら

ARTON

本格的な多国籍料理店
【ARTON(アートン)】

ドアを開けた瞬間、他の国に来たかのような雰囲気店内。お洒落な内装は店主さんご自身でデザインされたそうです！今回はイエローカーをいただきました。ココナッツのまろやかな味わいとスパイスのピリッと感が絶妙にマッチします。野菜やハーブも入っており、一度にたくさんさんの香りや風味が楽しめました。↓どちらも色鮮やかでお野菜たっぷりです♪

弊社の営業マンもよく利用する様ですが、いつも女性のお客様でいっぱいだそうです。そんな中、カウンター席にて1人美味しくお料理を味わっているとのことでした♪(笑)

定休日:日曜日 住所:荒田2丁目36-11
営業時間:[ランチ]11:30~15:00

BOOKS 『旅のつばくろ』

No103 『達人、かく語りき』

澤木 耕太郎 著

昨年春に予定されていた澤木耕太郎先生の講演会が、コロナの為一時は無期延期となり落胆していたのですが、約半年後の昨年10月に会場を広くして実施されました。会場で購入するとサインが頂けるということでミナーな私達夫婦はそれぞれ一冊づつ購入、私はちゃっかり名前まで入れてもらいました。澤木先生は大好きな作家で、このコーナーでも何冊か紹介しております。(『深夜特急』『敗れざる者たち』) 澤木先生はお写真のままのソフトな佇まいで、お話も分かりやすい言葉選びで温厚な人となりが見えました。ただ圧倒的に感じられるのは、賢い方なんだなあ、という事。“身近に感じられた雲の上の人”といったところでしょうか。『旅のつばくろ』は旅のエッセイ、『達人、かく語りき』は多様な分野の先駆者10人とのインタビュー集で、どちらも楽しく読ませて頂きました。

5月の連休明け、3回目の緊急事態宣言下の東京へ、千葉の土地の残金決済の為2泊3日出張してきました。不動産の残金取引は買主の指定する銀行で、売主、司法書士、不動産業者立会いのもと行う為、今回買主の意向で東京へ出張してきました。緊急事態宣言下では、飲食店での酒類提供禁止、百貨店等は休業で、地下の食品売場のみ営業となっていました。鹿児島⇄羽田間の飛行機は行きも帰りも減便のせいほぼ満席でした。機内は空気の入替えがされており、コロナ感染の心配はないとのこと安心です。都内の電車は普段通り通学の高校生等も乗車しており、緊急事態宣言の緊張感はありませんでした。サラリーマンの聖地である新橋の飲食店街も酒類の提供が出来なければお手上げみたいで、ほとんどの店が休業しており、人通りも無く、ひっそりしていました。私は三越デパートの地下食品売場で惣菜を購入し、ホテル近くの岡山物産館で日本酒を見つけ、ホテルで夕食です。三越の食品売場はすごい混み様で大変な密状態です。これが緊急事態宣言の実態です。翌日、仕事を終えた後、特別予定も無かったのでふとバスに乗ろうと思立ち、新橋駅より、路線バスで約1時間スカイツリーまでバスの旅です。地下鉄だと本を読むか車内の人物観察位しかすることは無いですが、バスだと途中、下町の古い町並みやバス停ごとの地名が新鮮で東京を感じられます。のんびりで時間はかかりますが、路線バスは大変おすすめです。押上のスカイツリーに着いたら、歩いて吾妻橋を渡り、浅草寺、上野のアメ横、秋葉原、有楽町と非日常を楽しみながらサクサクと歩きます。だいぶ長い距離でしたが、初めて歩く道、町で珍しい発見を探しながらだったので疲れも無く、無事ホテル到着です。東京では出来るだけ人と接触しない、密を避けることに気を付けていたので、当然コロナは全く心配ありませんでした。コロナウイルスの発生から約1年半経過しました。その間、新聞、TV、インターネット等で、コロナの発生起源、感染者数、死者数、ワクチンの有効性、副反応等の様々な情報が発信されています。(政府の直接的な広報も含めて)しかし、その情報が正しいエビデンス(証拠、証明)ファクト(事実)に基づいたものなのか私にはなかなか判断が付きません。真実はどこにあるのでしょうか？アメリカのトランプとバイデンの大統領選挙もそうでしたが、正しいエビデンス、ファクトが非常に見えにくく、又マスコミの報道も一方に偏りすぎているように感じたのは私だけでしょうか？「1984年」という小説の作者でジョージ・オーウェルの書いた「動物農場」に出てくる文章で“ボクサーは「ナポレオンはいつも正しい」という格言をとねるようになった。”とありますが、なぜか最近、私の頭の中に浮かんでくるのです。